

# 第1章

## 国際青年育成交流事業の概要

### 1 沿革

平成5年の皇太子殿下の御成婚を記念して平成6年度から実施している事業。  
(昭和34年度に当時皇太子殿下であられた天皇陛下の御成婚記念事業として開始した青年海外派遣事業と昭和37年度に開始した外国青年招へい事業を継承・発展させた。)

### 2 目的

日本と諸外国の青年との交流を通じて青年相互の友好と理解を促進し、青年の国際的視野を広げ、国際協調の精神の醸成と国際協力の実践力を向上させることにより、国際社会で指導性を発揮できる青年を育成するとともに、青年による青少年健全育成活動等の社会貢献活動への寄与を目的とする。

### 3 事業の概要

#### (1) 日本青年海外派遣

##### ①派遣国及び人数

派遣国	人数（団長・副団長含む）
ドミニカ共和国	12名
エストニア共和国	14名
ミャンマー連邦共和国	14名
合計：3か国	合計40名

##### ②日程

期間	事項
7月4日（火）～7月8日（土）	事前研修
9月7日（木）～9月8日（金）	出発前研修
9月9日（土）～9月26日（火）	海外派遣
9月27日（水）～10月1日（日）	帰国後研修*

\*9月27日（水）～9月29日（金）国際青年交流会議

##### ③訪問国における活動

現地青年との合宿ディスカッション、日本文化紹介、国際協力活動の体験、ホームステイ、キャリア形成・メディアリテラシー・多文化共生等の課題別視察を行う。

#### (2) 外国青年招へい

##### ①招へい国及び人数

対象国	人数（団長含む）
ドミニカ共和国、エストニア共和国、ミャンマー連邦共和国	各10名
チリ共和国、アイルランド	各7名
ヨルダン・ハシェミット王国	5名
合計：6か国	合計49名

## ②招へい時期及び期間

平成29年9月26日（火）から10月11日（水）までの16日間

## ③日本国内活動

外国招へい青年は、日本滞在中、「国際青年交流会議」への参加、施設見学等を行うとともに、地方において地元青年とのディスカッション・プログラムや伝統文化体験などの共同体験交流、ホームステイ等を行う。「国際青年交流会議」では、本事業で海外に派遣された日本青年と共に、キャリア形成、メディアリテラシー、多文化共生の三つの分野ごとに、関連施設の視察やディスカッションを行う。

月日	時間	プログラム
9月26日(火)		外国青年来日
	午後	夕食会
		オリエンテーション
9月27日(水)		国際青年交流会議
	午前	コースディスカッション1
	午後	コースディスカッション2 懇談会
9月28日(木)		国際青年交流会議
	午前	テーマ別視察 【キャリア形成】 NPO 法人 ETIC. 【メディアリテラシー】 江戸川大学 【多文化共生】 公益財団法人千葉市国際交流協会
	午後	コースディスカッション 文化交流会
9月29日(金)	午前	ディスカッションまとめ
	午後	ディスカッション成果発表
		地方プログラムオリエンテーション
9月30日(土) ～ 10月4日(水)		地方プログラム ローカルユースとのディスカッション・プログラム 高知県（ドミニカ共和国、アイルランド） 函館市（エストニア、ヨルダン） 沖縄県（ミャンマー、チリ）
10月5日(木) ～ 10月8日(日)		文化体験とホームステイ 鳥取県（ドミニカ共和国、アイルランド） 香川県（エストニア、ヨルダン） 奈良県（ミャンマー、チリ）
10月9日(月)	終日	都内体験プログラム
10月10日(火)		評価会、終了式、歓送会
10月11日(水)		外国青年帰国